

参考資料

- 1 市営住宅入居者意向調査の集計・分析結果
- 2 計画策定の経緯
- 3 加古川市住生活基本計画等策定委員会設置要綱
- 4 令和元年度加古川市住生活基本計画等策定連絡会議設置要綱
- 5 加古川市住生活基本計画等策定委員会 委員名簿
- 6 加古川市住生活基本計画等策定連絡会議 議長及び委員名簿

参考資料

1 市営住宅入居者意向調査の集計・分析結果

1 - 1. 調査の概要

(1) 調査の目的

現在市営住宅に入居している方に、団地や周辺の住環境に関する状況を伺うとともに、今後の居住意向等を伺うことで、住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画の見直しを行う基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の設計

- ・対象 : 市営住宅入居者 536 世帯
- ・調査方法 : 郵送配布、郵送回収
- ・回収期間 : 平成 30 年 10 月上旬～10 月下旬
- ・回収数 : 312 票 (回収率 58.2%)

(3) 配付資料

次頁以降に示す調査を配布し、各世帯の意向調査を行った。

【依頼文】

平成30年10月1日

市営住宅入居者 様

加古川市長 岡田 康裕
(公 印 省 略)

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より加古川市の住宅行政にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、市営住宅入居者の皆様に現在入居されている住宅や団地内及び団地周辺の住環境に関するご意見をお聞きして、市営住宅の適切な維持管理を進めていくための計画である「加古川市公営住宅等長寿命化計画」の見直しの参考とさせていただきたいと考え、アンケート調査を実施いたします。

上記趣旨をご理解のうえ、アンケート調査にご協力をお願いします。ご回答いただいた調査票は、住宅行政以外の目的には一切使用しませんので、ありのままのご意見をお聞かせください。

【問合せ先】

加古川市 都市計画部 住宅政策課 市営住宅係
電話番号：079-427-9254（直通）

アンケート調査票

〇〇住宅

加古川市公営住宅等長寿命化計画の見直しにかかる 市営住宅入居者アンケート調査

- ◎ アンケート調査にご協力をお願いします。
- ◎ このアンケート調査は、世帯主（世帯の家計を主に支えている人）がご記入ください。

■ ご記入にあたってのお願い

- ・ 回答は、この調査票に直接記入して下さい。
- ・ 鉛筆またはボールペンではっきりと〇印や数字等を記入して下さい。
- ・ 「その他」を選択された方は、（カッコ内）に具体的な内容を記入して下さい。
- ・ このアンケートは、皆様の意向等を調査するものであり、回答された内容が必ずしも実現するものではありません。

■ アンケート調査票の回収について

- ・ ご記入いただいたこのアンケート調査票は、三つ折りまたは四つ折りにしていただき、同封していません返信用封筒（切手は不要です）に入れて、

10月12日（金）までに お近くの郵便ポストへ投函して下さい。

アンケート調査に関する質問がありましたら、下記までご連絡ください。

加古川市 都市計画部 住宅政策課 市営住宅係

電話：079-427-9254（直通） FAX：079-422-8192

問7 前の住宅を出られたきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 結婚のため | 2. 親または子供等と別居するため |
| 3. 出産・子供の成長のため | 4. 収入の減少または失業・退職のため |
| 5. 周辺の環境が悪いため | 6. 身体の都合上、住宅が使いづらくなったため |
| 7. 契約切れ等で立退きを要求されたため | 8. その他() |

問8 現在の住宅を選ばれた理由は何ですか。主なものを2つ選び○印をつけて下さい。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 広さ・間取りが良かったため | 2. 住宅の設備が整っていたため |
| 3. 家賃が安い | 4. 買い物、医療等日常生活に便利だったため |
| 5. 通勤・通学に便利だったため | 6. その他の周辺環境がよいため |
| 7. 近くに親戚や友人が住んでいたため | 8. 他に賃貸住宅がなかったため |
| 9. その他() | |

問9 快適な共同生活を営む上で重要と考えられる以下の点のなかで、最近特に気になるものについて、あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1. あいさつをする人が減った | |
| 2. ゴミ出しのルールを守らない人が増えた(ごみの出し方、日、分別など) | |
| 3. 禁止されているにも関わらずペットをみることが増えた | |
| 4. 管理組合などの活動に参加しない人が増えた | |
| 5. 駐車スペース外に置かれる自家用車が増えた | 6. その他() |

問10 問9であげた変化として、原因の1つと考えられるものは何と思われるか。主なものを2つ選び○印をつけて下さい。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 日中は家にいない世帯が増えたこと | 2. 子供が減ったこと |
| 3. 高齢者が増えたこと | 4. 高齢の一人暮らしの世帯が増えたこと |
| 5. 入居のしおりをよく読まない人が増えたこと | 6. その他() |

問11 ご家族には団地内、団地外に親しくされている方(家族)がいらっしゃいますか。

【団地内】【団地外】それぞれで、あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

【団地内】

- | |
|--------------------|
| 1. よく話をする方がいる |
| 2. 立ち話程度のつきあいの方はいる |
| 3. 親しい人はいない |
| 4. その他() |

【団地外】

- | |
|--------------------|
| 1. よく話をする方がいる |
| 2. 立ち話程度のつきあいの方はいる |
| 3. 親しい人はいない |
| 4. その他() |

問 12 子どもの独立などにより、入居時より家族の人数が減った方にお伺いします。(該当しない場合は、問 13 へ)

現在の公営住宅では、大きな住宅に 2 人などの小家族が、小さな住宅に 4 人家族が住むなど、家族数と住宅の広さがマッチしない例がみられます。もし家族人数に応じた住宅に住み替えできるなら、あなたはどうかされますか。あてはまるもの 1 つに○印をつけて下さい。(収入状況や、住宅の広さに応じて家賃が変わります)

1. 困っている人がいるのであれば、小さい住宅に住み替えてもよい
2. 条件によっては、小さい住宅に住み替えてもよい
3. 住み替えたくない
4. その他 ()

問 13 団地内の共通問題への対処や環境維持のための組織やルールの必要性について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。あてはまるもの 1 つに○印をつけて下さい。

1. 管理組合をつくって対処していくのがよい
2. 管理組合はいるが、団地環境を維持するために何らかの組織や会が必要
3. 入居者の各人が守るべきルールをつくるのがよい
4. その他 ()

問 14 現在お住まいの市営住宅に関する以下の 1～23 の項目について、どのように思っていますか。記入例にならって、次の 4 段階から 1 つを選び○印をつけて下さい。

		満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満			満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満
記入例			○			記入例				○	
住 宅 の 評 価	1.部屋数・広さ					団 地 の 評 価	13.集会所				
	2.間取り						14.公園・広場				
	3.台所の使いやすさ						15.自転車置場				
	4.浴室の使いやすさ						16.屋外物置				
	5.便所の使いやすさ						17.日常の買物				
	6.収納スペースの広さ						18.通勤・通学				
	7.手すり、段差への配慮						19.子育て環境				
	8.日当たり、通風の良さ						20.近所づきあい				
	9.地震時の安全性						21.団地内の自治会活動				
	10.防犯性能のよさ						22.家賃				
	11.内装の傷み具合						23.市営住宅の住みごころについての総合評価				
12.外壁・屋根の傷み具合											

問 15 お住まいの市営住宅の間取りと家賃について記入して下さい。

(ア) 間取り (1つに○印)	(イ) 家賃
1. 1K (1居室+台所) 2. 2K (2居室+台所)	
3. 2DK (2居室+台所兼食堂) 4. 3K (3居室+台所)	
5. 3DK (3居室+台所兼食堂) 6. 3LDK (3居室+広めの台所兼食堂)	_____円

Ⅲ. 今後の居留意向等についておたずねします。

問16 今後も、現在お住まいの住宅に住み続けたいですか。あてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

- 1. このまま住み続けたい ⇒ (問18へ)
- 2. 5年以内に転居する予定がある
- 3. いずれは(6年以上先に)転居したい
- 4. 今のところわからない ⇒ (問18へ)

問17 問16で「2. 5年以内に転居する予定がある」「3. いずれは(6年以上先に)転居したい」とお答えの方におたずねします。

(ア) 転居したい理由について、あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

- 1. 住宅への不満
- 2. 住宅の建設・購入
- 3. 周辺の住環境への不満
- 4. 日常の買物に不便
- 5. 仕事の都合(就職・転勤等)
- 6. 子供の誕生や成長へ対応するため
- 7. 親と別居するため(世帯分離)
- 8. 子供と別居するため(世帯分離)
- 9. 親又は子供と同居するため
- 10. 家族の都合(結婚・出産・離婚等)
- 11. 親しい友人や知人が少なくなってきた
- 12. 家賃の値上がり
- 13. その他 ()

(イ) 転居希望地について、あてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

- 1. 市内(加古川地域)
- 2. 市内(加古川北地域)
- 3. 市内(野口地域)
- 4. 市内(平岡地域)
- 5. 市内(尾上地域)
- 6. 市内(別府地域)
- 7. 市内(両荘地域)
- 8. 市内(加古川西地域)
- 9. 市内(志方地域)
- 10. 市外 () 都・道 市・区 府・県 () 町・村

(ウ) 転居後に住みたい住宅の種類について、あてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

- 1. 持家(注文住宅)
- 2. 持家(建売住宅)
- 3. 持家(分譲マンション)
- 4. 戸建て借家
- 5. アパート・ハイツ
- 6. 賃貸マンション
- 7. 公的借家(市営住宅、県営住宅、UR住宅等)
- 8. 老人ホーム等
- 9. その他 ()

問 18 現在お住まいの市営住宅団地における今後必要な対応について、あなたのお考えに近いものすべてに○印をつけて下さい。

1. 現在のままでよい
2. 古くなったり傷んだりした住宅部分の修繕で十分
3. 高齢者に配慮した住宅等の改善を行うべき
4. 地震に配慮した住宅等の改善を行うべき
5. 団地内の施設や環境をさらに充実させるべき
6. 入居者と協議の上、古いものから建替えていくべき
7. 市の計画にまかせたい
8. その他 ()

問19 現在お住まいの市営住宅が老朽化により取り壊される場合、引き続き市営住宅への入居を希望しますか。あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

1. 団地の場所が現在と違う場所になっても市営住宅への入居を希望する
2. 家賃が現在より高くなっても市営住宅への入居を希望する
3. 一時退去が必要となっても市営住宅への入居を希望する
4. 市営住宅からは退去する（入居を希望しない）
5. その他 ()

新しい住宅に転居された場合、一般に家賃は高くなりますが、どれくらいまでなら負担できますか。（1つに○印）

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 1万円未満 | 2. 1万～1万5千円未満 | 3. 1万5千～2万円未満 |
| 4. 2万～3万円未満 | 5. 3万～4万円未満 | 6. 4万～5万円未満 |
| 7. 5万～6万円未満 | 8. 6万～7万円未満 | 9. 7万円以上 |

問20 問19で選択肢1～3を選択し「市営住宅への入居を希望する」とお答えになった方に伺います。移転先住居として最も優先することは何ですか（1つに○）

1. 家賃の安さ
2. 間取りの広さ
3. 利便性が良い

問21 問19で選択肢4を選択し「市営住宅からは退去する」とお答えになった方に伺います。移転先住居として最も優先することは何ですか（1つに○）

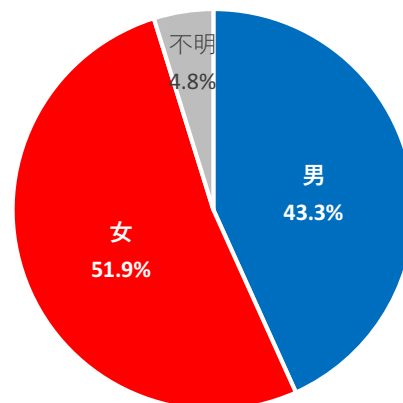
1. 機能性の良さ（間取りや設備など）
2. 現在の住宅より利便性が良い場所にあること
3. 現在の住宅の近くにあること（生活圈や学校区が同じ）
4. その他 ()

1 - 2. 集計・分析

問 1. 本人性別・年齢、家族構成・家族人数

[性別]

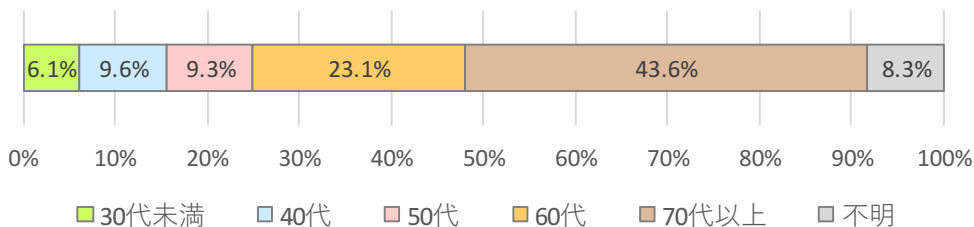
	1 男	2 女	3 不明	合計
件数	135	162	15	312
%	43.3%	51.9%	4.8%	100.0



回答者の性別は「男性」43.3%、「女性」51.9%、女性が男性をやや上回っている。

[年齢]

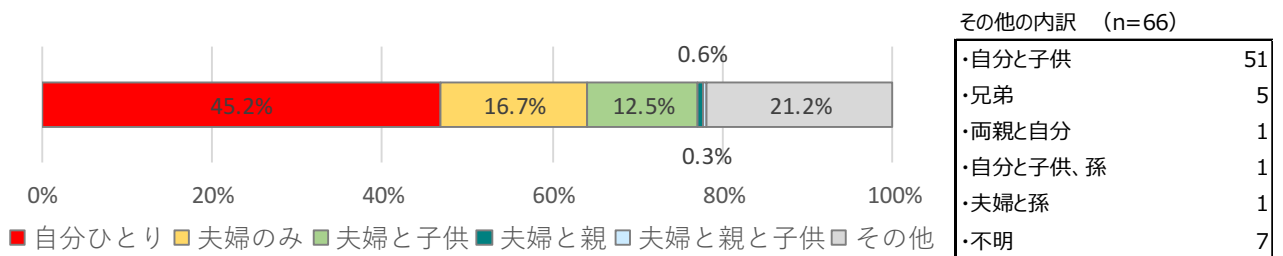
	1 30代未満	2 40代	3 50代	4 60代	5 70代以上	6 不明	合計
件数	19	30	29	72	136	26	312
%	6.1%	9.6%	9.3%	23.1%	43.6%	8.3%	100.0%



回答者の年齢は、「70代以上」が43.6%と最も多く、次いで「60代」が23.1%で多くっており、この2つを合わせた60代以上が7割弱を占めている。

[家族構成]

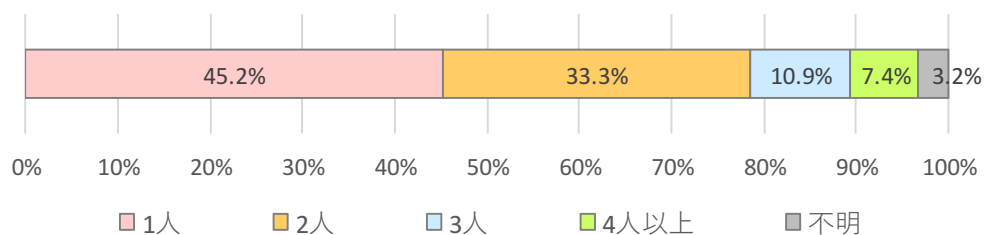
	1 自分ひとり	2 夫婦のみ	3 夫婦と子供	4 夫婦と親	5 夫婦と親 と子供	6 その他	7 自分と子供	7 不明	合計
件数	141	52	39	2	1	66	51	11	312
%	45.2%	16.7%	12.5%	0.6%	0.3%	21.2%	16.3%	3.5%	100.0



家族人数は「自分ひとり」の単身世帯が45.2%と半数近くを占めている。次いで「夫婦のみ」16.7%、「夫婦と子供」12.5%の順で多くなっている。また、その他の中で、「自分と子供（一人親世帯）」という回答が51件（16.3%）あり、「一人親」が「夫婦と子供」を上回っている。

[家族人数]

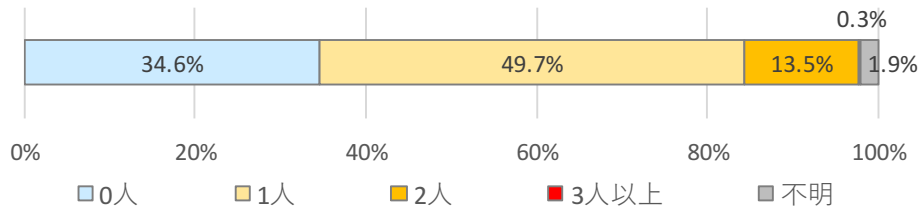
	1 1人	2 2人	3 3人	4 4人以上	5 不明	合計
件数	141	104	34	23	10	312
%	45.2%	33.3%	10.9%	7.4%	3.2%	100.0%



家族人数は「1人」が45.2%、「2人」が33.3%で、約8割が2人以下の世帯となっている。

問 2. 同居する 65 歳以上の高齢者数（単回答）

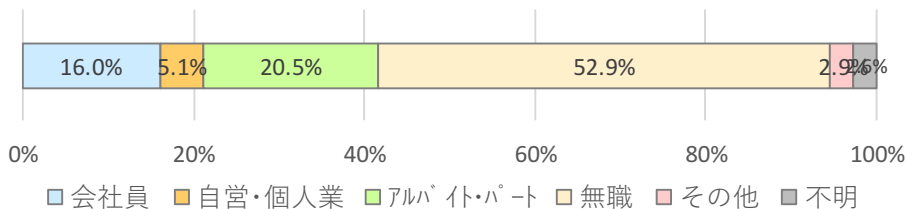
	1 0人	2 1人	3 2人	4 3人以上	5 不明	合計
件数	108	155	42	1	6	312
%	34.6%	49.7%	13.5%	0.3%	1.9%	100.0



同居する 65 歳以上の高齢者数は「1 人」という回答が最も多く、49.7%とほぼ半数を占めている。また、「2 人」、「3 人以上」も合わせると高齢者のいる世帯が全体ほぼ 3 分の 2 の 63.5%、高齢者がいない世帯が約 3 分の 1 の 34.6%となっている。

問 3. 本人の職業（単回答）

	1 会社員	2 自営・個人業	3 アルバイト パート	4 無職	5 その他	6 不明	合計
件数	50	16	64	165	9	8	312
%	16.0%	5.1%	20.5%	52.9%	2.9%	2.6%	100.0



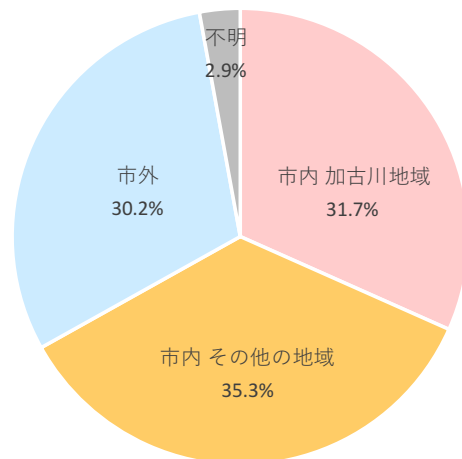
回答者職業は、「無職」が 52.9%と最も多く、過半数以上を占めている。次いで、「アルバイト・パート」20.5%、「会社員」16.0%の順で多くなっている。

問 4. 勤務地

地域		件数	割合
市内	1 加古川地域	44	31.7%
	2 加古川北地域	8	5.8%
	3 野口地域	8	5.8%
	4 平岡地域	4	2.9%
	5 尾上地域	6	4.3%
	6 別府地域	6	4.3%
	7 両荘地域	2	1.4%
	8 加古川西地域	10	7.2%
	9 志方地域	5	3.6%
10 市外	42	30.2%	
11 不明	4	2.9%	
合計		139	100.0%

市外の内訳 (n=42)

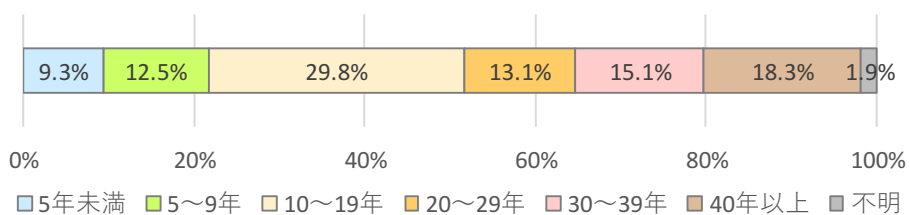
・神戸市	9
・稲美町	8
・高砂市	5
・姫路市	5
・三木市	3
・加西市	2
・小野市	2
・播磨町	2
・明石市	2
・加東市	1
・市川町	1
・福崎町	1
・不明	1



働いている方の勤務地は、「市内（加古川地域）」が 31.7%で最も多く、「市内のその他の地域」35.3%も含めると約 7 割の方が加古川市内でお勤めになっている。一方で、「市外」も 30.2%と約 3 分の 1 を占めている。「市外」では、神戸市、稲美町への勤務が多くなっている。

問 5. 入居期間（単回答）

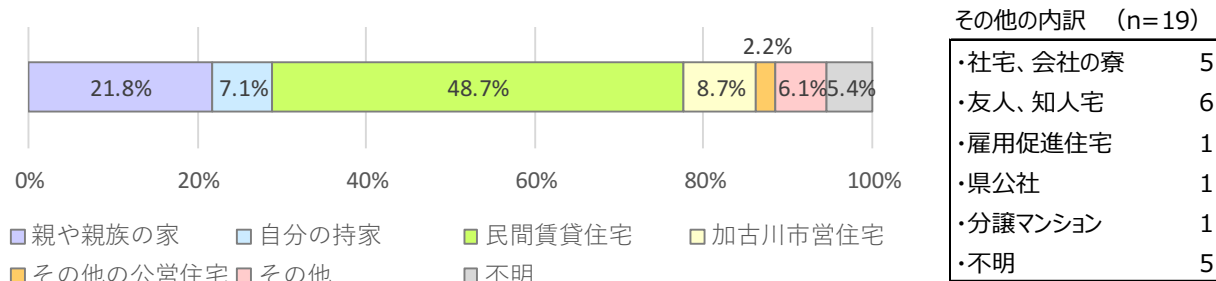
	1 5年未満	2 5～9年	3 10～19年	4 20～29年	5 30～39年	6 40年以上	7 不明	合計
件数	29	39	93	41	47	57	6	312
%	9.3%	12.5%	29.8%	13.1%	15.1%	18.3%	1.9%	100.0



回答者の入居期間は「10～19年」が 29.8%と最も多く、次いで「40年以上」18.3%、「30～39年」15.1%の順で多くなっている。また、10年以上（長期的に）入居している方が 76.3%と大半を占めている。

問 6ー (ア)．入居以前の住宅の種類 (単回答)

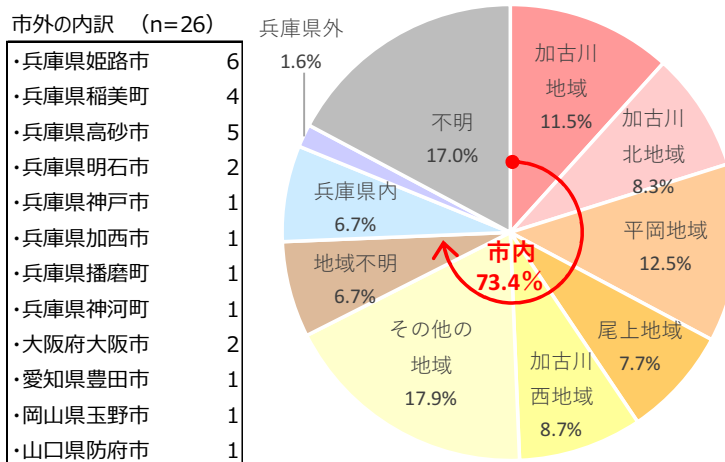
	1 親や 親族の家	2 自分の持家	3 民間 賃貸住宅	4 加古川 市営住宅	5 その他の 公営住宅	6 その他	7 不明	合計
件数	68	22	152	27	7	19	17	312
%	21.8%	7.1%	48.7%	8.7%	2.2%	6.1%	5.4%	100.0



現在の市営住宅に入居する以前の住宅の種類は「民間の賃貸住宅」が約半数の 48.7%、次いで「親や親族の家」が 21.8%となっている。

問 6ー (イ)．入居以前の住所 (記述回答)

地域		件数	割合
市内	1 加古川地域	36	11.5%
	2 加古川北地域	26	8.3%
	3 野口地域	20	6.4%
	4 平岡地域	39	12.5%
	5 尾上地域	24	7.7%
	6 別府地域	11	3.5%
	7 両荘地域	9	2.9%
	8 加古川西地域	27	8.7%
	9 志方地域	16	5.1%
	10 地域不明	21	6.7%
市外	11 兵庫県内	21	6.7%
	12 兵庫県外	5	1.6%
	13 不明	53	17.0%
合計		312	100.0%



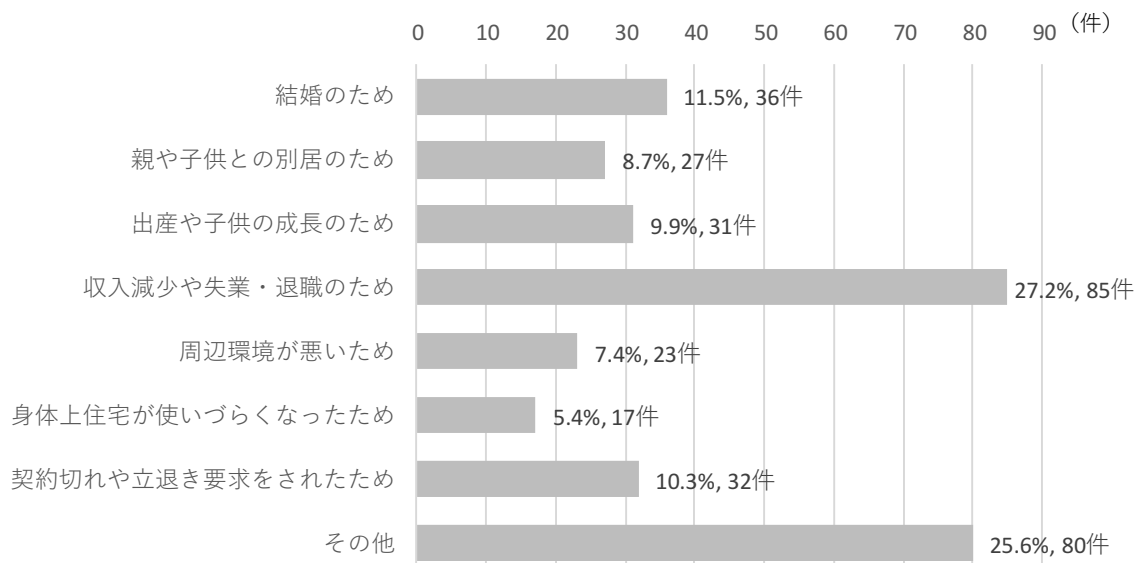
入居以前の住所は、加古川市内が 73.4%と大半を占めている。地域別にみると、平岡地域が 12.5%で最も多く、次いで、加古川地域 11.5%、加古川西地域 8.7%の順で多くなっているが、ほぼ市内全域に分布している。また、市外では姫路市や高砂市、稲美町など近隣市町が多い。

問 7. 以前の住宅からの退去のきっかけ（複数回答）

理由	件数	割合
1 結婚のため	36	11.5%
2 親や子供との別居のため	27	8.7%
3 出産や子供の成長のため	31	9.9%
4 収入減少や失業・退職のため	85	27.2%
5 周辺環境が悪いため	23	7.4%
6 身体上住宅が使いづらくなったため	17	5.4%
7 契約切れや立退き要求をされたため	32	10.3%
8 その他	80	25.6%
9 不明	14	4.5%
合計	312	100.0%

その他の内訳 (n=80)

・離婚	15	・親、親族の家に居づらくなった	5
・家賃が高い、上がった	13	・生活が苦しい（会社倒産他）	3
・市営住宅に入居できたから	8	・火災のため	2
・建替のため	7	・競売、他人の土地のため	2
・住宅の老朽化	3	・市住に住む父の介護のため	1
・市からの勧めで	3	・総合住宅ができたため	1
・勤務先に近い	3	・狭いため	1
・親が亡くなったので	3	・隣の子供の騒音がうるさかった	1
・親の都合で	2	・不明	7

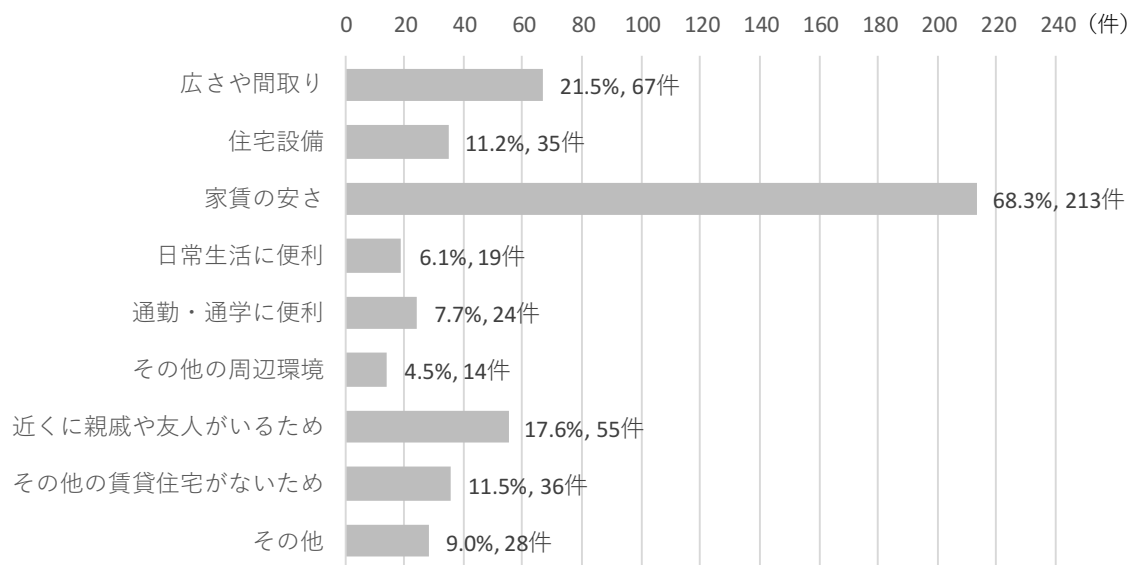


退去のきっかけは、「収入減少や失業・退職のため」という経済的な要因が 27.2%と最も多いが、「結婚のため」11.5%、「出産や子供の成長のため」9.9%、「親や子供との別居のため」8.7%などの家族の変化をきっかけとしたというものがそれぞれ約 1 割を占めている。また、「契約切れや立ち退き要求をされたため」というやむを得ない状況も、約 1 割（10.3%）を占めている。

その他の回答の中では「離婚」、「家賃が高い、上がった」という回答が目立っている。

問 8. 現在の住宅を選んだ理由（複数回答）

理由	件数	割合	その他の内訳（n=28）
1 広さや間取り	67	21.5%	・市営住宅に入居希望だった 5
2 住宅設備	35	11.2%	・建替、市の指定による 5
3 家賃の安さ	213	68.3%	・実家、親の墓に近かった 3
4 日常生活に便利	19	6.1%	・親族、知人が住んでいた 3
5 通勤・通学に便利	24	7.7%	・バリアフリーで安全 1
6 その他の周辺環境	14	4.5%	・老後も住み続けるため 1
7 近くに親戚や友人がいるため	55	17.6%	・娘達を選んできた 1
8 その他の賃貸住宅がないため	36	11.5%	・低所得のため外には行けない 1
9 その他	28	9.0%	・以前に一度住んでいた 1
10 不明	9	2.9%	・姪2人を育てていたため 1
合計	312	100.0%	・親についてきただけ 1
			・不明 5



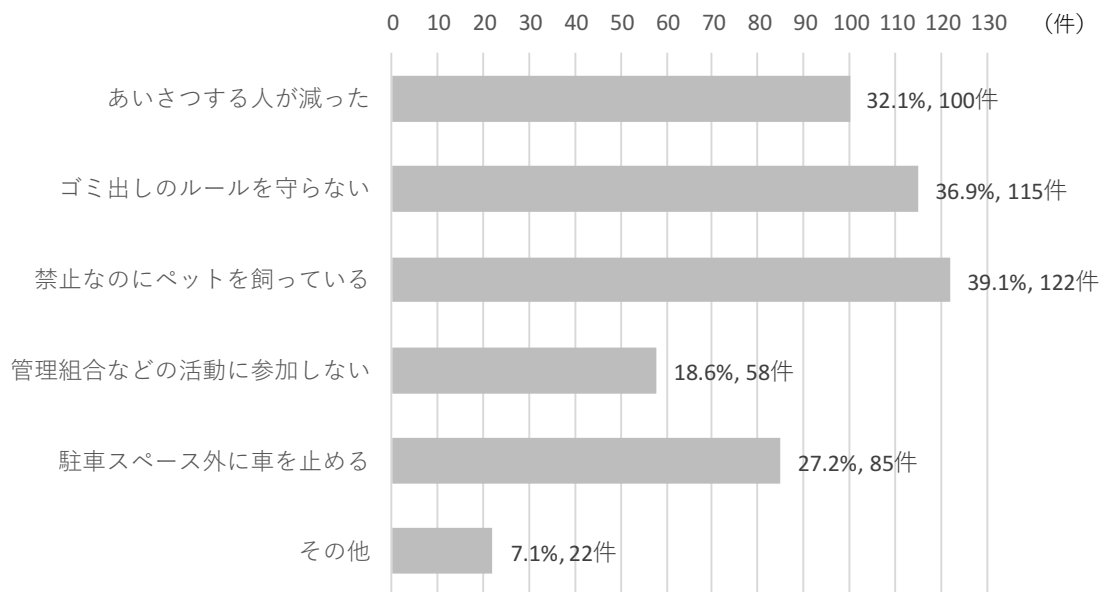
「家賃の安さ」が 68.3%で最も多く、他の項目に比べて突出して高い値となっている。次いで「広さや間取り」21.5%、「近くに親戚や友人がいるため」17.6%の順で多くなっている。

問 9. 快適な共同生活を営む上で気になること（複数回答）

共同生活で気になること	件数	割合
1 あいさつする人が減った	100	32.1%
2 ゴミ出しのルールを守らない	115	36.9%
3 禁止なのにペットを飼っている	122	39.1%
4 管理組合などの活動に参加しない	58	18.6%
5 駐車スペース外に車を止める	85	27.2%
6 その他	22	7.1%
7 不明	43	13.8%
合計	312	100.0%

その他の内訳（n=22）

・空き家が多い	3	・マナー（下着で戸外へ出る）	1
・清掃に参加しない	3	・宗教の集まりがある	1
・騒音（若者のたまり場、生活音）	3	・排管などの老朽化	1
・ゴミ（ポイ捨て、外から持込む）	3	・鳩のフン被害	1
・声をかけ合わない	2	・駐車場がない	1
・治安が悪い	1	・不明	2



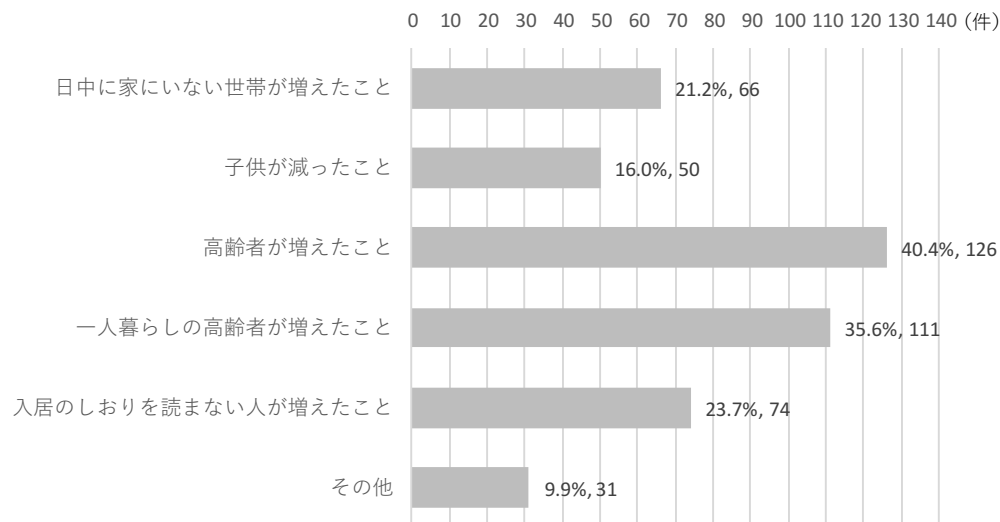
快適な共同生活を営む上で気になることは、「禁止なのにペットを飼っている」が39.1%で最も多く、次いで「ゴミ出しのルールを守らない」36.9%、「あいさつする人が減った」32.1%の順で多くなっており、上位3項目はいずれも3割を超えている。

問 10. 問 9 の原因と考えられること（複数回答）

共同生活で気になること	件数	割合
1 日中に家にいない世帯が増えたこと	66	21.2%
2 子供が減ったこと	50	16.0%
3 高齢者が増えたこと	126	40.4%
4 一人暮らしの高齢者が増えたこと	111	35.6%
5 入居のしおりを読まない人が増えたこと	74	23.7%
6 その他	31	9.9%
7 不明	43	13.8%
合計	312	100.0%

その他の内訳（n=31）

・モラル、マナー、ルールを守る意識の低さ	12
・自分勝手な人が増えた	4
・若い人など、一般常識が無い	2
・転居、入居者の半減	2
・注意する人がいない	1
・コミュニティの崩壊	1
・知らなかった	1
・差別を言い新しい人を寄せ付けない	1
・空室にいい加減なネットを張った為	1
・ペットのふんで困っている	1
・ペット飼育者に行政が注意しない	1
・不明	4



問 9 の原因としては、「高齢者が増えたこと」が 40.4% で最も多く、次いで、「1 人暮らしの高齢者が増えたこと」35.6% 「入居のしおりを読まない人が増えたこと」23.7%、「日中に家にいない世帯が増えたこと」21.2% の順で多くなっており、高齢者の増加が原因と考えている方が多い傾向にある。

その他の回答の内訳としては、「モラル、マナー、ルールを守る意識の低さ」という回答が多くなっている。

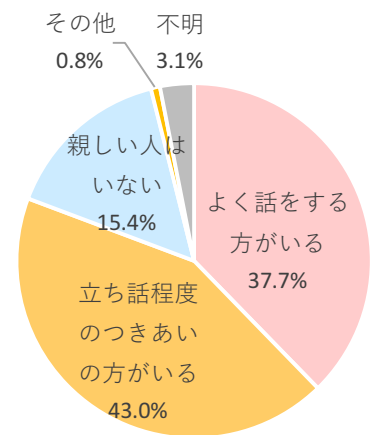
問 11. 親しくしている人の存在（複数回答）

[団地内]

	1 よく話をする 方がいる	2 立ち話程度の つきあいの方 がいる	3 親しい人は いない	4 その他	5 不明	合計
件数	135	154	55	3	11	312
%	43.3%	49.4%	17.6%	1.0%	3.5%	100.0%

その他の内訳 (n=3)

・あいさつ程度	1
・ティータイムをする人がいる	1
・町内会運営等協力していきたい	1



団地内で親しくしている人の存在については、約半数の49.4%の方が「立ち話程度のつきあいの方がいる」としており、「よく話をする方がいる」の43.3%をやや上回っている。また、17.6%の方が「親しい人はいない」という回答となっている。

[団地外]

	1 よく話をする 方がいる	2 立ち話程度の つきあいの方 がいる	3 親しい人は いない	4 その他	5 不明	合計
件数	165	97	56	13	23	312
%	52.9%	31.1%	17.9%	4.2%	7.4%	100.0%

その他の内訳 (n=13)

・家族、親族がいる	7
・電話で話をする友人がいる	2
・仕事の友達	1
・食事会等する人がいる	1
・関心が無い	1
・不明	1

団地外で親しくしている人の存在については、過半数の52.9%の方が「よく話をする方がいる」としており、「立ち話程度のつきあいの方がいる」の31.1%を上回っている。また、「親しい人はいない」という回答は17.9%と団地内の場合とほぼ同じ割合となっている。

問 12. 住み替えできるならどうするか（入居時より家族数が減った方）[単回答]

	1 困っている人が いるなら小さい 住宅に住み 替えてもよい	2 条件によっ ては小さい住宅 に住み替えて もよい	3 住み替えたく ない	4 その他	合計	その他の内訳 (n=8)
件数	7	26	89	8	130	<ul style="list-style-type: none"> ・一人住まいに合っている広さ 1 ・大きな住宅ではない 1 ・収納場所が少く、今でも狭く感じる 1 ・2人でSタイプなので、このまま住み続けたい 1 ・広いところに移りたい。元々小さな部屋を建て増しをしてやっと住めるようになった。子供達の帰省時にはやはり狭い。 1 ・母の面倒をみるため1階へ行きたい 1 ・団地内の住み替えならいい 1 ・不明 1
%	5.4	20.0	68.5	6.2	100.0	

子供の独立などで、入居時より家族数が減った入居世帯の住み替え意向については、回答者130名のうちの7割弱の68.5%で「住み替えたくない」としており、「困っている人がいるなら小さい住宅に住み替えてもよい」5.4%、「条件によっては小さい住宅に住み替えてもよい」20.0%で、約25%の方が住み替えてもよいとしている。

問 13. 団地内の組織やルールの必要性[単回答]

	1 管理組合を 作って対処す る	2 管理組合では なく何らかの組 織や会が必要	3 入居者の各 人が守るルー ルを作る	4 その他	5 不明	合計
件数	41	60	113	19	79	312
%	13.1	19.2	36.2	6.1	25.3	100.0

その他の内訳 (n=19)

・市が介入してほしい	5
・ルールを作っても守らない人がいる	3
・既に町内会がある	2
・自治会、管理組合はあるが、高齢化、機能していない	2
・現状維持、そっとしておく	2
・全戸でルールを話し合い、全員が守る	1
・ルールを守らない人への丁寧な説明	1
・住民以外の民間会社による管理	1
・不明	2

団地内の共通問題への対処や環境維持のための組織やルールの必要性については、「入居者の各人が守るルールを作る」が36.2%と多く、次いで「管理組合ではなく何らかの組織や会が必要」が19.2%で多くなっている。また、その他の記述の中では「市が介入してほしい」という意見が5件で最も多くなっている。

問 14. 居住する市営住宅の満足度[各単回答]

[住宅の評価]

居住する住宅について、個別の住居に関する 12 項目の中で、満足度が高いのは「1. 部屋数・広さ」(満足:37.8%)、「8. 日当たり、通風の良さ」(満足:37.5%)、「2. 間取り」(満足:34.0%)、「5. 便所の使いやすさ」(満足:33.0%)などで、「やや満足」を合計した満足割合は、6~7割となっている。

それに対して、不満度が高いのは「11. 内装の痛み具合」(不満:37.5%)、「12. 外壁・屋根の傷み具合」(不満 26.0%)で、「やや不満」を合計した不満割合は5割を超えている。そのほか、「9. 地震時の安全性」や「10. 防犯性のよさ」の項目で不満割合が、満足割合を上回っている。

[団地の評価]

居住する団地の居住環境などに関する 10 項目の中で、満足度が高いのは「22. 家賃」(満足:30.1%)で、「やや満足」を合計した満足割合は、6割を超えている。そのほか、「13. 集会所」や「15. 自転車置場」、「20. 近所づきあい」の項目で、「やや満足」を合計した満足割合が、6割近くを占めている。

それに対して、不満度が高いのは「17. 日常の買物」(不満:29.8%)で、「やや不満」を合計した不満割合は約5割で、10項目の中で唯一不満割合が満足割合を上回っている。

[総合評価]

住み心地の総合評価は「やや満足」が38.5%と最も高く、合計割合を比較すると、過半数の51.6%が満足で、不満足 of 24.7%を上回っている。

		件数						割合 (%)						
		全 体	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	満足割合	不満割合
住宅の評価	1 部屋数・広さ	312	118	90	35	16	53	37.8	28.8	11.2	5.1	17.0	66.7	16.3
	2 間取り	312	106	100	50	16	40	34.0	32.1	16.0	5.1	12.8	66.0	21.2
	3 台所の使いやすさ	312	81	85	71	35	40	26.0	27.2	22.8	11.2	12.8	53.2	34.0
	4 浴室の使いやすさ	312	88	67	77	46	34	28.2	21.5	24.7	14.7	10.9	49.7	39.4
	5 便所の使いやすさ	312	103	95	43	34	37	33.0	30.4	13.8	10.9	11.9	63.5	24.7
	6 収納スペースの広さ	312	72	100	62	34	44	23.1	32.1	19.9	10.9	14.1	55.1	30.8
	7 手すり・段差への配慮	312	71	76	73	55	37	22.8	24.4	23.4	17.6	11.9	47.1	41.0
	8 日当たり、通風の良さ	312	117	102	43	17	33	37.5	32.7	13.8	5.4	10.6	70.2	19.2
	9 地震時の安全性	312	47	81	72	65	47	15.1	26.0	23.1	20.8	15.1	41.0	43.9
	10 防犯性のよさ	312	28	86	93	59	46	9.0	27.6	29.8	18.9	14.7	36.5	48.7
	11 内装の痛み具合	312	25	47	86	117	37	8.0	15.1	27.6	37.5	11.9	23.1	65.1
	12 外壁・屋根の傷み具合	312	30	71	86	81	44	9.6	22.8	27.6	26.0	14.1	32.4	53.5
団地の評価	13 集会所	312	65	120	51	13	63	20.8	38.5	16.3	4.2	20.2	59.3	20.5
	14 公園・広場	312	43	123	63	22	61	13.8	39.4	20.2	7.1	19.6	53.2	27.2
	15 自転車置場	312	60	123	58	23	48	19.2	39.4	18.6	7.4	15.4	58.7	26.0
	16 屋外物置	312	51	85	58	39	79	16.3	27.2	18.6	12.5	25.3	43.6	31.1
	17 日常の買物	312	45	75	62	93	37	14.4	24.0	19.9	29.8	11.9	38.5	49.7
	18 通勤・通学	312	41	75	51	32	113	13.1	24.0	16.3	10.3	36.2	37.2	26.6
	19 子育て環境	312	27	86	51	25	123	8.7	27.6	16.3	8.0	39.4	36.2	24.4
	20 近所づきあい	312	35	152	64	16	45	11.2	48.7	20.5	5.1	14.4	59.9	25.6
	21 団地内の自治会活動	312	34	109	75	28	66	10.9	34.9	24.0	9.0	21.2	45.8	33.0
	22 家賃	312	94	110	51	17	40	30.1	35.3	16.3	5.4	12.8	65.4	21.8
全体	23 住み心地の総合評価	312	41	120	64	13	74	13.1	38.5	20.5	4.2	23.7	51.6	24.7

問 15. 居住する市営住宅の間取りと家賃

(ア) 間取り

	1 1 K	2 2 K	3 2DK	4 3 K	5 3DK	6 3LDK	7 不明	合計
件数	5	38	58	66	84	23	38	312
%	1.6	12.2	18.6	21.2	26.9	7.4	12.2	100.0

居住する住居の間取りについては、「3DK」が26.9%で最も多く、次いで「3K」21.2%、「2DK」18.6%の順で多くなっている。

(イ) 家賃

	1 5千円未満	2 5千～1万円 未満	3 1万～1万5 千円未満	4 1万5千～ 2万円未満	5 2万円以上	6 不明	合計
件数	3	39	100	35	73	62	312
%	1.0	12.5	32.1	11.2	23.4	19.9	100.0

居住する住居の家賃については、「1万～1万5千円未満」が32.1%と最も多く、次いで「2万円以上」が23.4%と多くなっている。

問 16. 今後の居住意向（単回答）

	1 このまま住み 続けたい	2 5年以内に転 居予定	3 いずれは転居 したい	4 わからない	5 不明	合計
件数	193	10	12	79	18	312
%	61.9	3.2	3.8	25.3	5.8	100.0

今後も現在の住居に住み続けたいかという居住意向については、「このまま住み続けたい」が61.9%と最も多く6割を超えている。一方、「5年以内に転居予定」3.2%、「いずれは転居したい」3.8%であり、転居を考えている居住者は約7%にとどまっている。

問 17ー (ア). 転居したい理由 (複数回答)

理 由	件 数	割 合
1 住宅への不満	9	40.9
2 住宅の建設・購入	2	9.1
3 周辺環境への不満	5	22.7
4 日常の買物に不便	3	13.6
5 仕事の都合	1	4.5
6 子供の誕生や成長に対応	6	27.3
7 親と別居するため	0	0.0
8 子供と別居するため	0	0.0
9 親や子供と同居するため	4	18.2
10 家族の都合	3	13.6
11 親しい知人が減ったため	2	9.1
12 家賃の値上がり	3	13.6
13 その他	6	27.3
合計	22	100.0

その他の内訳 (n=6)

・両親が高齢で介護が必要になった為	1
・エレベーターがないのがつらい	1
・子供の安全のため	1
・床が抜けている、雨漏り、北側はかびみれ	1
・鳩のフン被害や鳩が住み着く	1
・不明	1

転居を考えている居住者の転居したい理由は、「住宅への不満」が 40.9%と最も多く、次いで、「子供の誕生や成長に対応」27.3%、「周辺環境への不満」22.7%の順で多くなっている。

問 17ー (イ). 転居希望地 (単回答)

地 域	件 数	割 合
1 市内(加古川地域)	7	31.8
2 市内(加古川北地域)	1	4.5
3 市内(野口地域)	0	0.0
4 市内(平岡地域)	4	18.2
5 市内(尾上地域)	0	0.0
6 市内(別府地域)	0	0.0
7 市内(両荘地域)	1	4.5
8 市内(加古川西地域)	1	4.5
9 市内(志方地域)	0	0.0
10 市外	6	27.3
11 不明	2	9.1
合計	22	100.0

市外の内訳 (n=6)

・兵庫県神戸市	1
・兵庫県姫路市	1
・兵庫県明石市	1
・兵庫県三木市	1
・秋田県	1
・不明	1

転居希望地は、「市内(加古川地域)」が 31.8%と最も多く、次いで「市内(平岡地域)」18.2%が多くなっている。

問 17- (ウ). 転居後に住みたい住宅の種類 (単回答)

住宅の種類	件数	割合
1 持家(注文住宅)	7	31.8
2 持家(建売住宅)	1	4.5
3 持家(分譲住宅)	1	4.5
4 戸建て借家	0	0.0
5 アパート・ハイツ	4	18.2
6 賃貸マンション	2	9.1
7 公的借家	4	18.2
8 老人ホーム	1	4.5
9 その他	2	9.1
合計	22	100.0

その他の内訳 (n=6)

・戸建て持ち家	1
・5.アパート・ハイツと7.公的借家	1

転居後に住みたい住宅の種類は、「持ち家 (注文住宅)」が 31.8%と最も多く、次いで「アパート・ハイツ」18.2%、「公的借家」18.2%の順で多くなっている。

問 18. 居住する住宅に今後必要な対応 (複数回答)

必要な対応	件数	割合
1 現在のままでよい	44	14.1
2 傷んだ部分の修繕	121	38.8
3 高齢者に配慮した住宅の改善	116	37.2
4 地震に配慮した住宅の改善	89	28.5
5 団地内の施設や環境の充実	36	11.5
6 古いものから建替える	83	26.6
7 市の計画にまかせる	52	16.7
8 その他	13	4.2
9 不明	18	5.8
合計	312	100.0

その他の内訳 (n=13)

・(早く、同じ場所)で建替えてほしい	3
・エレベーター	1
・浴室が古いので良いものが欲しい	1
・キッチンを新しくしてほしい	1
・網戸が必要かと思う	1
・大雨の心配。位置的に雨が入口に集中し、玄関の段差がない	1
・高齢化に対応した住み替え	1
・二戸一住宅に1人で住んでいるところが多い施設にいる母を引き取る期日が迫っているので、広いところに移りたい	1
・入居者をもっと増やして欲しい	1
・自治会のあり方を変えて欲しい	1
・不明	1

現在居住する住宅に今後必要な対応については、「傷んだ部分の修繕」が 38.8%と最も多く、次いで「高齢者の配慮した住宅の改善」37.2%、「地震に配慮した住宅の改善」28.5%、「古いものから建替える」26.6%の順で多くなっている。

問 19. 居住する住宅が取り壊しされる場合の市営住宅への継続入居意向（複数回答）

	1 現在と違う場所になっても入居を希望	2 家賃が現在より高くなっても入居を希望	3 一時退去をしても入居を希望	4 市営住宅からは退去する	5 その他	6 不明	合計
件数	149	80	121	10	11	34	312
%	47.8	25.6	38.8	3.2	3.5	10.9	100.0

その他の内訳（n=11）

・同じ団地に入居したい（設備とスペースを確保	2
・建替希望。建替えるなら住みたい。	1
・バリアフリーなら入居希望	1
・県営住宅か、空家で安くで暮らせるところ	1
・衣食住が確保できるなら、市住にこだわらない	1
・老人ホームに入るかも	1
・老朽化の心配はない	1
・不明	3

現在の住居が老朽化により取り壊される場合の継続入居意向については、約半数の 47.8%が「団地の場所が現在と違う場所になっても市営住宅への入居を希望する」としている。また、「一時退去が必要になっても市営住宅への入居を希望する」が 38.8%、「家賃が現在より高くなっても市営住宅への入居を希望する」が 25.6%となっている。

一方、「市営住宅からは退去する（入居を希望しない）」は 3.2%にとどまっている。

問 19-S. 家賃が高くなっても新しい市営住宅に入居希望する場合の家賃の許容範囲（単回答）

家賃上昇の範囲	件数	割合
1 1万円未満	17	21.3
2 1～1.5万円未満	21	26.3
3 1.5～2万円未満	13	16.3
4 2～3万円未満	19	23.8
5 3～4万円未満	6	7.5
6 4～5万円未満	1	1.3
7 5～6万円未満	2	2.5
8 6～7万円未満	0	0.0
9 7万円以上	0	0.0
10 不明	1	1.3
合計	80	100.0

家賃の許容範囲については、「1～1.5万円」が 26.3%と最も多く、次いで、「2～3万円」が 23.8%、「1万円未満」が 21.3%の順で多くなっており、約 9 割が 3 万円以下となっている。

問 15 の現在の家賃と比較すると、ほぼ同じ金額が回答されていると思われる。

問 20. 市営住宅入居希望者が入居の際に最も優先すること（単回答）

	1 家賃の安さ	2 間取りの広さ	3 利便性の良さ	4 不明	合計
件数	181	27	39	10	257
%	70.4	10.5	15.2	3.9	100.0

市営住宅への継続入居希望者が最も優先するのは、「家賃の安さ」で 70.4%と 7 割を超えている。

問 21. 市営住宅からの退去希望者が移転先住居選定の際に最も優先すること（単回答）

	1 機能性の良さ	2 利便性の良さ	3 現在の住宅の近く	4 その他	合計
件数	3	3	2	2	10
%	30.0	30.0	20.0	20.0	100.0

その他の内訳（n=2）

・実家に帰る	1
・子供と同居する	1

市営住宅からの退去希望者が移転先住居として最も優先するのは、「機能性の良さ（間取りや設備など）」30.0%、「現在の住宅より利便性がよい場所にあること」30.0%、「現在の住宅の近くにあること（生活圏や学校区が同じ）」20.0%と意見は分かれている。

問 22. 今後、公営住宅を新たに整備する場合のいいと思う場所（単回答）

	1 公共交通機関と連携がとれていて、買物や通勤に便利なところ	2 さまざまな世代が交流でき、にぎやかなところ	3 公園や広場が整備され、子育てのしやすい安全なところ	4 自然が多く静かで周辺環境がよいところ	5 特にない	6 わからない	7 その他	8 不明	合計
件数	193	9	23	18	33	20	11	15	312
%	61.9	2.9	7.4	5.8	10.6	6.4	3.5	4.8	100.0

その他の内訳（n=11）

・今の場所（の近く）でいい	2
・お任せする。皆の意見を聞いてよい場所に	2
・交通の便利なところ	1
・市営バスの止まる場所	1
・坂がづらい（車、バイクに乗れない）	1
・場所より設備。高齢者、障がい者が住みやすい住宅	2
・ペットと住める住宅にして欲しい	1
・家賃が高くなるので一概に便利な所がよいとはいえない	1

「公共交通機関などにより周辺との連携がとれており、日常の買物や通院が便利なところ」が 61.9%と 6 割を超えており、最も高くなっている。

2 計画策定の経緯

加古川市住生活基本計画、加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画及び加古川市公営住宅等長寿命化計画については、庁内関係課の職員で構成する「加古川市住生活基本計画等策定連絡会議」で計画内容等を調整し、有識者や市民代表で構成する「加古川市住生活基本計画等策定委員会」で意見を聴取しながら策定しました。併せて、加古川市公営住宅等長寿命化計画については、市営住宅の管理に関する諮問機関である「加古川市営住宅管理審議会」の答申を得て策定しました。

■ 会議の経過及びスケジュール

日付	内容
令和元年 5月24日	第1回加古川市住生活基本計画等策定連絡会議 ・計画概要について ・策定体制について ・スケジュールについて ・住生活基本計画骨子(案)について
令和元年 6月25日	第1回加古川市住生活基本計画等策定委員会 ・委員長及び副委員長の選出について ・計画策定スケジュールについて ・住生活基本計画骨子(案)について
令和元年 8月16日	第2回加古川市住生活基本計画等策定連絡会議 ・進捗状況等について ・住生活に関する市民アンケート調査結果について ・公営住宅等長寿命化計画の骨子(案)について ・(仮称)住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画の骨子(案)について
令和元年 8月27日	第2回加古川市住生活基本計画等策定委員会 ・公営住宅等長寿命化計画の骨子(案)について ・(仮称)住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画の骨子(案)について
令和元年 10月25日	第3回加古川市住生活基本計画等策定連絡会議 ・各計画骨子(案)の最新版について ・計画策定スケジュールについて ・加古川市住生活基本計画(素案)について ・加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画(素案)について ・加古川市公営住宅等長寿命化計画(素案)について

日付	内容
令和元年 11月5日	第3回加古川市住生活基本計画等策定委員会 ・加古川市住生活基本計画(素案)について ・加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画(素案)について ・加古川市公営住宅等長寿命化計画(素案)について
令和元年 11月12日	第2回加古川市営住宅管理審議会(諮問) ・加古川市公営住宅等長寿命化計画の改定について
令和元年 11月27日～ 12月26日	パブリックコメント実施
令和2年 1月27日	第4回加古川市住生活基本計画等策定連絡会議 ・パブリックコメントの実施結果について ・加古川市住生活基本計画(案)について ・加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画(案)について ・加古川市公営住宅等長寿命化計画(案)について
令和2年 2月7日	第4回加古川市住生活基本計画等策定委員会 ・パブリックコメントの実施結果について ・加古川市住生活基本計画(案)について ・加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画(案)について ・加古川市公営住宅等長寿命化計画(案)について
令和2年 2月17日	第3回加古川市営住宅管理審議会(答申) ・加古川市公営住宅等長寿命化計画の改定について
令和2年 2月25日	パブリックコメント実施結果公表 (提案意見件数) ・加古川市住生活基本計画(案) 4人 15件 ・加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画(案) 3人 13件 ・加古川市公営住宅等長寿命化計画(案) 14人 35件

3 加古川市住生活基本計画等策定委員会設置要綱

平成 31 年 4 月 1 日
都市計画部長決定

(目的)

第 1 条 加古川市住生活基本計画、加古川市公営住宅等長寿命化計画及び(仮称)加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画の策定にあたり、幅広い意見を聴取し、計画の充実を図るため、加古川市住生活基本計画等策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 加古川市住生活基本計画案について意見を述べること
- (2) 加古川市公営住宅等長寿命化計画案について意見を述べること
- (3) (仮称)加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画案について意見を述べること

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 7 人以内で組織し、次の各号に定める者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市民を代表する者
- (3) 前 2 号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、前条の規定による委嘱の日から、第 2 条に掲げる所掌事務が終了する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会議を進行する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者を出席させ、説明を求め、又は意見を聴くことができる。

(報償)

第 7 条 委員長及び委員の報償の額は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 委員長 日額 11,000 円
- (2) 委員 日額 9,000 円

(庶務)

第 8 条 委員会の庶務は、都市計画部住宅政策課において処理する。

(補則)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

(招集の特例)

2 この要綱の施行後、最初に開かれる会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

(この要綱の失効)

3 この要綱は、第2条に掲げる所掌事務が終了する日をもってその効力を失う。

4 令和元年度加古川市住生活基本計画等策定連絡会議設置要綱

令和元年5月10日
都市計画部長決定

(目的)

第1条 「加古川市住生活基本計画」、「加古川市公営住宅等長寿命化計画」の更新策定及び「(仮称)加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画」の新規策定に関し、関係各課と情報や課題を共有するとともに、「加古川市住生活基本計画」、「加古川市公営住宅等長寿命化計画」及び「(仮称)加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画」(以下「住生活基本計画等」という。))の策定に関する事項を協議するため、加古川市住生活基本計画等策定連絡会議(以下「連絡会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 連絡会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 住生活基本計画等の策定の内部調整に関すること
- (2) その他前号に関して必要な事項に関すること

(組織)

第3条 連絡会議は、議長及び委員をもって組織する。

- 2 議長は、住宅政策課長とし、委員は、別表に掲げる所属の職員(各1名)とする。
- 3 議長は、連絡会議を招集する。
- 4 議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときには、あらかじめ議長が指名したものがその職務を代理する。
- 5 議長は、議長が必要と認めるものを連絡会議に出席させ、説明若しくは意見を聴き、資料の提出を求めることができる。

(設置時期)

第4条 連絡会議の設置時期は、令和元年5月10日から令和2年3月31日とする。

(連絡会議)

第5条 連絡会議は、委員の半数以上の出席がなければ開催することができない。

- 2 委員は、事故その他やむを得ない事情により連絡会議に出席できない場合は、議長の承認を得て代理人を委員として出席させることができる。
- 3 連絡会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 連絡会議の庶務は、都市計画部住宅政策課で行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年5月10日から施行する。

別表（第3条関係）

委 員	
企画部	政策企画課
	行政経営課
産業経済部	産業振興課
福祉部	高齢者・地域福祉課
	生活福祉課
	障がい者支援課
	介護保険課
こども部	こども政策課
	家庭支援課
建設部	営繕課
都市計画部	都市計画課
	建築指導課

5 加古川市住生活基本計画等策定委員会 委員名簿

(敬称略)

氏名	所属
委員長 倉本 宜史	甲南大学マネジメント創造学部 准教授
神吉 秀穂	加古川市町内会連合会 理事
岡本 佑子	加古川市民生児童委員連合会 理事
岡本 正幸	加古川市社会福祉協議会 常務理事
松尾 崇司	兵庫県宅地建物取引業協会加古川支部 財政法税務部長
副委員長 内木場 徹	加古川市営住宅管理審議会 会長、一級建築士
堀崎 真一	兵庫県県土整備部住宅建築局 住宅政策課長

6 加古川市住生活基本計画等策定連絡会議 議長及び委員名簿

氏名	所属
議長 稲岡 直樹	都市計画部 住宅政策課長
守安 佑太	企画部 政策企画課 主査
下田 孝一	企画部 行政経営課 副課長
岸本 康男	産業経済部 産業振興課 労働政策係長
山田 直	福祉部 高齢者・地域福祉課 副課長
細川 暢二	福祉部 生活福祉課 暮らしサポート担当副課長
村井 美佳	福祉部 障がい者支援課 副課長
笠原 久義	福祉部 介護保険課 副課長
名嶋 一也	こども部 こども政策課 副課長
岡本 延也	こども部 家庭支援課 副課長
上内 真介	建設部 営繕課 整備計画担当副課長
衣笠 圭一	都市計画部 都市計画課 地域計画担当副課長
岡崎 仁祐	都市計画部 建築指導課 副課長

加古川市公営住宅等長寿命化計画

発行年：令和2年(2020年)3月

発行：加古川市

編集：都市計画部 住宅政策課

住所：〒675-8501 加古川市加古川町北在家 2000

電話：079-421-2000 (代表)

FAX：079-441-7101
